

学校関係者評価報告書（令和 6 年度）

令和 6 年度実施内容の学校評価委員会を開催し、「名古屋医療情報専門学校」の自己評価結果及び発表内容をもとに、学校関係者による評価を以下のとおり実施した。

実施日：令和 6 年 8 月 29 日（木）

企業委員 2 名、卒業生委員 1 名、有識者 1 名、地域住民委員 1 名、事務局 2 名（計 7 名）
評価コメント：

評価	評価に係る提言・改善等
(1) 教育理念・目標 教育理念・人材育成目標ともに、しっかりと定められている。	
(2) 学校運営 学校間の意思決定や情報連携に対する、改善の取り組みがみられる。	
(3) 教育活動 高く評価できる。学生の評価も踏まえ、引き続き推進していくことを期待する。	
(4) 学修成果 在校生に対する資格と就職 及び 退学防止に対する取り組みは、自信を持って取り組んでおり、高く評価できる。	
(5) 学生支援 十分な支援がなされており、特に目立った改善項目はない。	入学生の定員割れが続いている。安定した財務基盤の確保のためにも、入学生増加のための対策が必要である。
(6) 教育環境 防災に対して更なる整備が求められる。	
(7) 学生の受入れ募集 全体的には、よく取組んでおり問題はない。	
(8) 財務 安定した財務基盤の確保のためにも、入学生増加のための対策が必要である。	競合校との差別化（情報系・医療情報系の科目を増やすなど）を図るなど、入学生の増加につながる対策が必要である。
(9) 法令等の遵守 全体的に、よく取組んでおり問題はない。	
(10) 社会貢献・地域貢献 校舎周辺の清掃活動などを実施しており、地域住民との関係は良好である。目に見える効果はない	清掃活動において、歩行者への配慮は常に意識する必要がある。

かもしれないが、こういった取り組みを経て、地域社会の評価が年々高まるものだと考える。	
--	--

以上